

NPO 宮島ネットワーク
令和5年(2023)12月(令和5年度第5回)月例会議事録

日時 令和5年12月22日(金)午後3時～4時25分

場所 宮島商工会館 2F 会議室

出席者 13名

挨拶 理事長 寒い中、参加いただき感謝。転勤者の紹介。広島ユネスコ協会から表彰されることになった。

包ヶ浦海岸に外資系高級ホテルを誘致する文化庁の企画に包ヶ浦は採用されなかったが、市長はまだ諦めていない模様。市議会で佐々木議員が追及したが、今後の包ヶ浦の活用案を民間からも提案していきたい、近く会を立ち上げたい。

議事

1) 広島ユネスコ協会の表彰

- ・広島ユネスコ協会で活動(海岸清掃とアサリ浜再生)が表彰されることになった。
- ・表彰式及び活動発表会、担当者の確認。

2) エフピコ環境基金事業 清掃⑬ 室浜海岸清掃 11月11日(土)の結果:資料配布

- ・参加59人、回収量563.0kg(うちアサリ覆い網517.0kg)、FRPコンテナ残骸は測定外。
- ・大学の私有地で普段もゴミを拾っているのに、ペットボトルなどは少ない。
- ・砂浜を掘ると隠れている漁網が出てくる。どこまで埋まっているか分からない。
- ・子どももいる清掃で埋まっている漁網や金属網を人手で掘り起すのは限界がある。船からクレーンで釣り上げるとか、新しい活動が必要か?
- ・アサリ網の出所ははっきりしている。大野町の3漁協への働きかけが必要。
- ・NPOが清掃を始めた海岸なので、助成金に関係なく清掃活動は続ける。

3) NPO紹介展示: 写真展 宮島をまもる ~NPO宮島ネットワーク活動紹介⑨~の終了

- ・期間:11/08(水)~12/11(月)、設営11/07(火)、撤収12/12(火)
- ・問題なく終了。

4) さくらもみじの会の活動について

ア) 1月の作業予定:第7回・第8回作業の資料を配布

- ・第7回1/13(土)藤の棚公園、四宮神社周辺
- ・第8回1/25(木)奥紅葉谷公園の作業
- ・木曜日の作業が多いが、土日しか参加できない人もいるため年2回は週末に設定。
- ・例年、寒いことが多い。奥紅葉谷公園は風よけ場所もないので体調と相談して参加してほしい。1時間だけの参加でも良い。若い人の参加を期待。

イ) 活動の状況と今後

- ・14年間の活動で今年のモミジ紅葉がいちばん悪かった。紅葉谷は日当たりが悪く、夏の猛暑と小雨が影響したか？ 宮島だけでなく九州各地でも同様の状態が見られた。ところが「今年のモミジがきれいだった」という人もいた。その人が見たのは、大聖院下と木比屋谷で、ここの紅葉はきれいだった。
- ・モミジの手入れを任されているのは紅葉谷のみ、最近ではモミジの植え替えのための掘削でも文化財保護担当者の立ち会いが必要になった。
- ・モミジの樹勢回復は結果が見えにくいですが、肥料の成分を変えるなど、樹木医と相談しながら進めている。

5) アサリ浜の育成について

- ・1月まで干潮時の潮が高くて浜の手入れができない。
- ・日照が短くなるとアオサが繁殖する。だんだん増えてきたが、早くにとるとまた増えて来るので、2月以降の作業にする。
- ・覆い網にカキも着いてきた。
- ・2月頃に潮がある浜に入ってアオサを除去する。
- ・3月に網の交換作業を10日ほど行う予定。

6) 小プラスチック片の回収

- ・12/12(火)に包ヶ浦海岸でプラスチック片を集めた。
- ・2人で1時間で450袋10袋。枯れ草など他のゴミは1割程度。
- ・海岸の石垣に沿ってシソ科の草が生えて冬になると枯れ、その回りにプラスチック片が北風に吹き寄せられて集まる。それを集める。
- ・現在アサリ網を張って、ゴミの集まり具合を調べている。
- ・季節によって条件が変わるので、時期を変えて何度かゴミを集める。
- ・ブロアーで風を送ってゴミを集める実験もする。回収機器の作成は継続する。

7) 車椅子ルートマップの作成について

- ・商店や旅館の車椅子対応を調査する。質問状を作り、直接行って調べる。
- ・車椅子利用者の要望を集める方法は？ →養護学校や高齢者施設などに問い合わせる方法もあるかも。

8) エフピコ環境基金助成事業の報告まとめ

- ・場所は、おもてなしトイレ2階が利用できるか問い合わせる。ダメなら栈橋2階。
- ・印刷物と写真展示は同じ物。動画がいくつかできるので、映像を流す。

9) その他1：島内の鳥獣対策

ア) イノシシ対策

- ・イノシシの目撃情報が増えている。年2回出産し繁殖力が強いので頭数も増えて

いるだろう。

- ・島内でしかけている檻にイノシシがかかったことがない。→イノシシ檻と方法をネット公開している自治体もある。それを見ると、大人のイノシシがいきなり檻に入ることはない。毎日エサを檻に置き、慣れたところで扉を落とす。毎日見回り、シカなど他の動物が入った時は逃がす。他の動物が入るのは想定内。→宮島の檻はいつ置いたか分からないエサが干涸びている。シカが入らないように入口をチューブで狭めている。イノシシが入る訳が無い。檻の設置は業者任せ、イノシシがかかるかどうかの成果は問わないので、檻を設置しているだけ。
- ・五日市の集落で、米ぬかを広範囲に撒いてイノシシを捕獲する例を紹介。集落の皆が協力して、次第にイノシシを檻の方向へ追っていく。
- ・廿日市市でも山間部でイノシシ対策をしているはずだが、その情報共有はない。
- ・1頭のイノシシが10年後には100頭に増えると言われている。商店街に出てくるようになったら大被害になるが、役所は危機感が無い。

イ) シカへの対応

- ・大元公園でシカの骨の一部を見たことがある。イノシシの被害か？→シカもシカの屍骸を食べる。角まで噛み砕いて食べる。イノシシとは限らない。
- ・室浜での観察会で、松の新芽は餌が豊富な時にシカは食べないが、餌が無いときにはしかたなく食べる非常食のようなものと教わった。雑食のシカは、今まで食べなかったものを突然食べはじめることがありうるので予測は難しい。
- ・コロナで開かれていなかったシカの対策協議会は、再開したのか？ 打開策を出せるのか？ →対策協議会であって、話し合うだけ、実効はない。

その他2：島内の公衆トイレについて

- ・未だに和式トイレしかないところがある。改善してもらいたい。→具体的に場所を指定して要望を出す方が良い。

その他3：包ヶ浦海岸の今後を考える会

- ・3月くらいまでに一定の結論を出す必要がある。月例会では間にあわない。既に組織を立ち上げる準備が進んでいるよう NPO では個人参加とする。